



## 可搬型ハンプによる交通安全対策の実証実験を行います ～市内の道路で初めての实証実験～

「ハンプ」とは、生活道路等における車両の速度を減速させて、歩行者・自転車の安全な通行を確保することを目的に設置される道路上に設けた凸部（コブ状のもの）です。

交通安全対策に効果的な「ハンプ」を国土交通省名古屋国道事務所から借用し、通学路に指定されている交差点部に設置し、実証実験を行います。

今後、課題分析や効果検証後に、通学路安全推進委員会や他コミュニティ、町内会等からの要望に伴い、市内への拡大、設置の検討をします。

### ■実証実験期間

令和5年6月1日（木）から令和5年8月31日（木）（予定）

### ■場所

加木屋町唐山地内（市道唐山2号線）

### ■写真等

整備状況

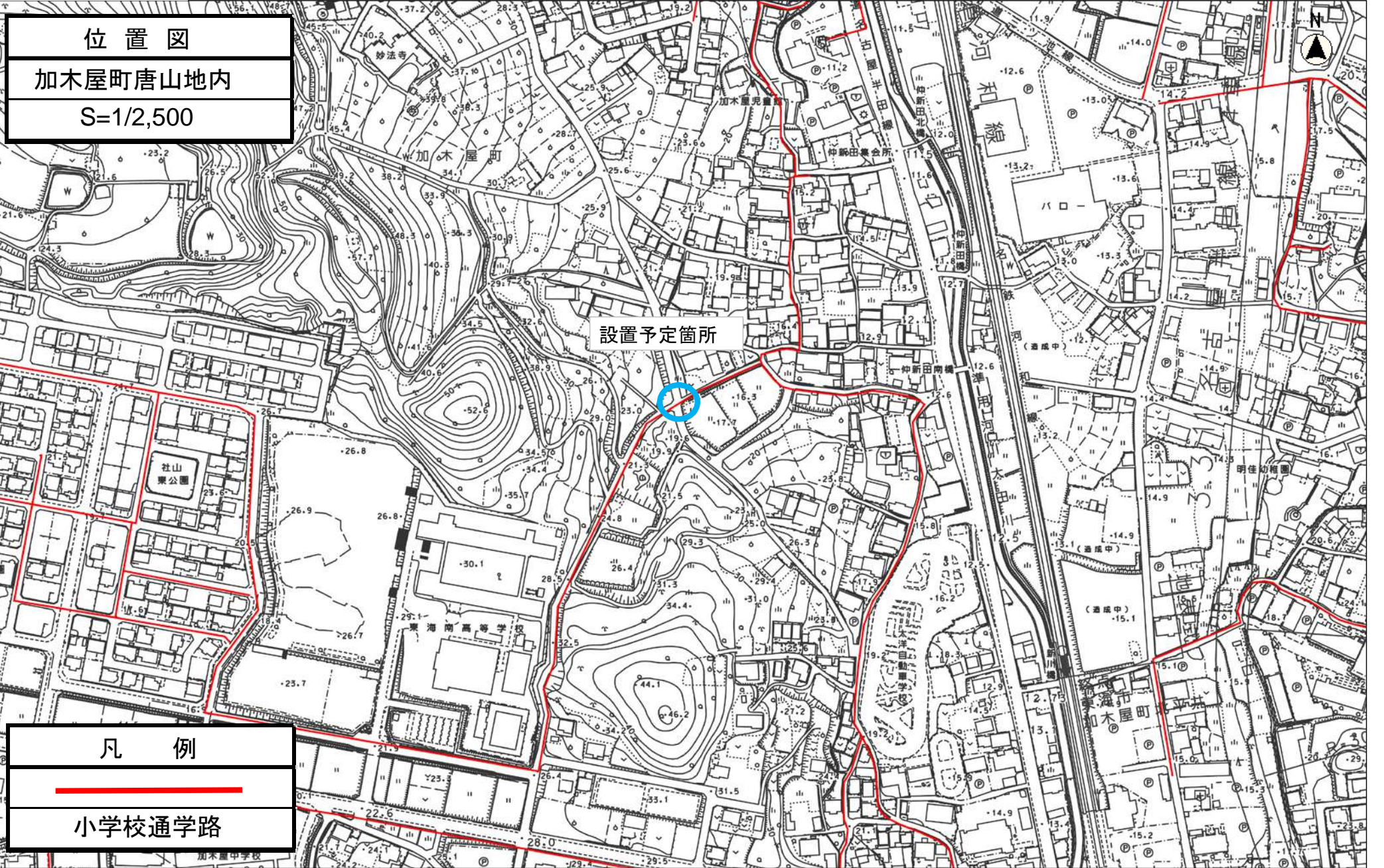


問合せ

都市建設部土木課

担当：名古屋（なごや） 船尾（ふなお） 諏訪（すわ）

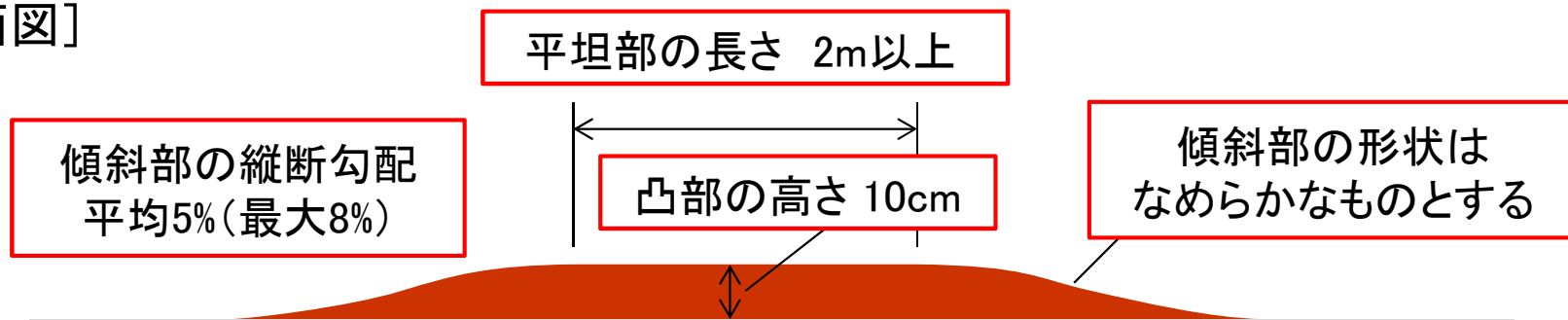
052-603-2211、0562-33-1111（内線424）



- 車道に設けられた凸型の構造物
- 通過車両を押し上げることで運転者に不快感を与え、減速を促す



[縦断面図]

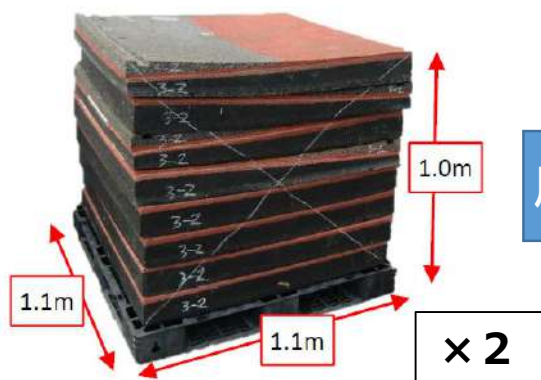


# 可搬型ハンプの貸し出しを行っています。

◆ 名古屋国道事務所では、生活道路の交通安全対策を支援するため、「**可搬型ハンプ**」の貸し出しを行っています。

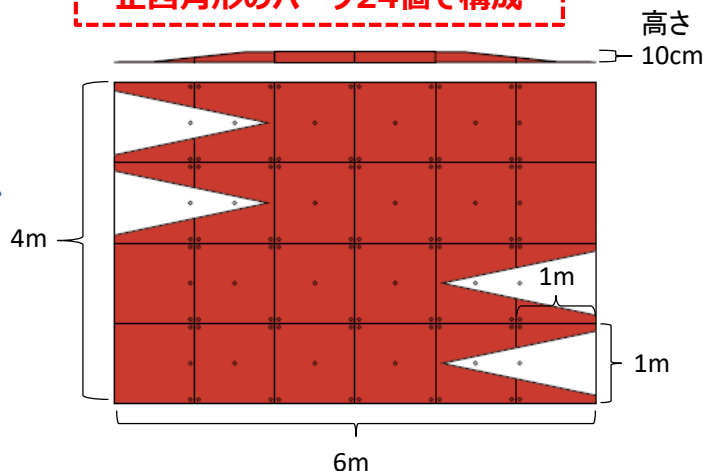
## ▼貸し出しハンプ（外観）

写真は1/2セット（12個のパーツ）  
約650～約750kg

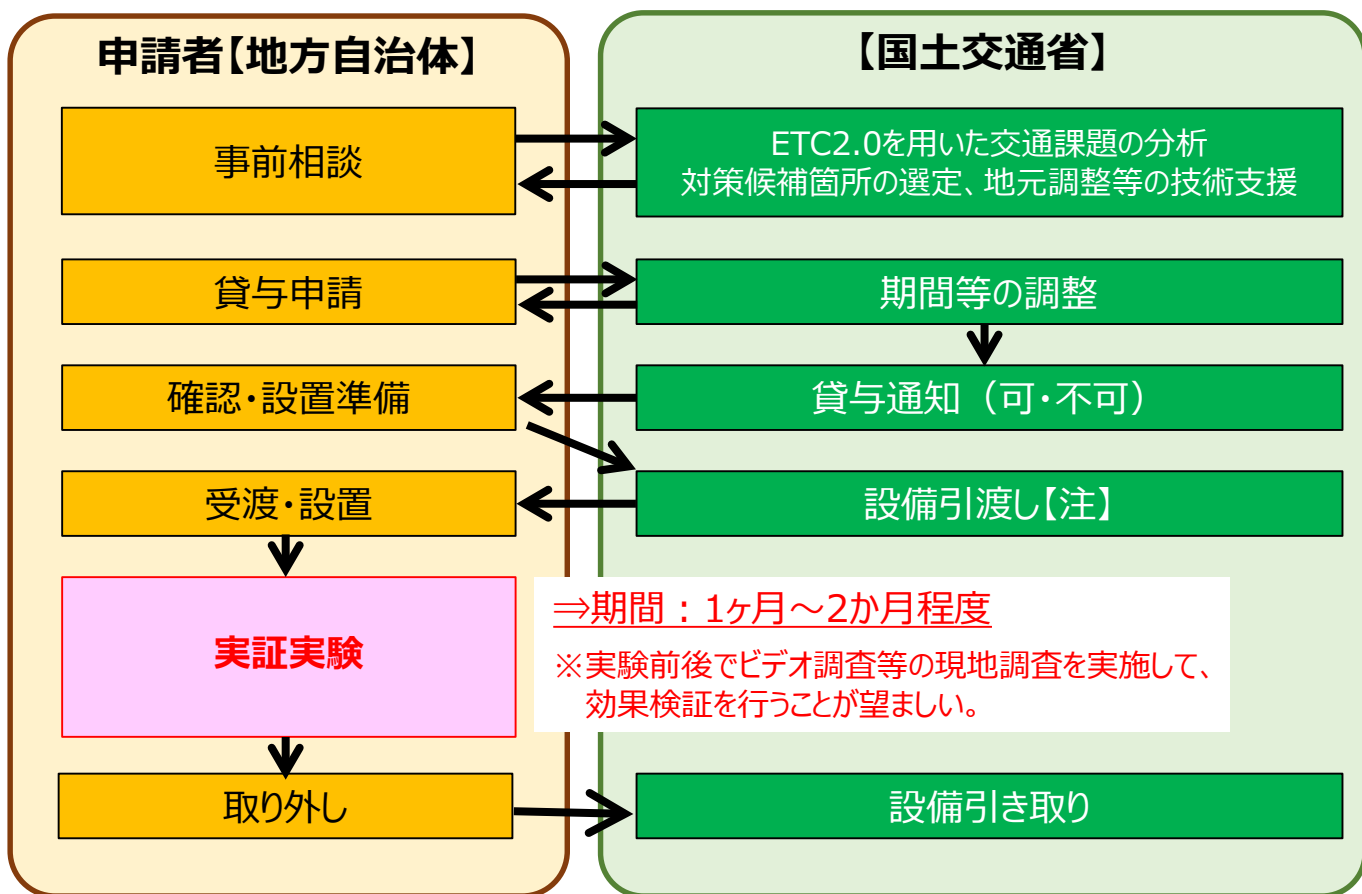


## ▼ハンプのサイズ

可搬型ハンプ1基は1m×1mの  
正四角形のパーツ24個で構成



## ▼一般的な貸し出し手順



# 生活道路の交通安全対策を支援します。

◆ 可搬型ハンプの貸し出し以外にも、ETC2.0を活用したビッグデータの分析等、**生活道路の交通安全対策に必要な技術支援**を行っています。

## ▼ETC2.0を活用したビッグデータ分析事例（豊田市和会地区）

ETC2.0のプロブデータを用いて、課題分析や効果検証等を行っています。

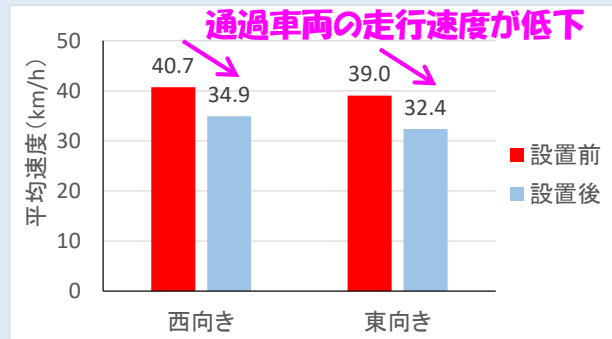
### ■位置図



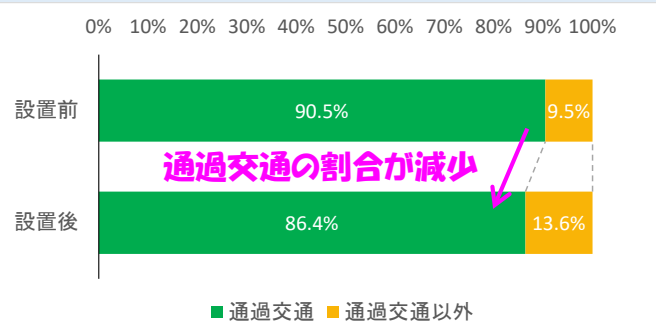
### ■設置状況



### ■速度の変化



### ■抜け道車両の変化



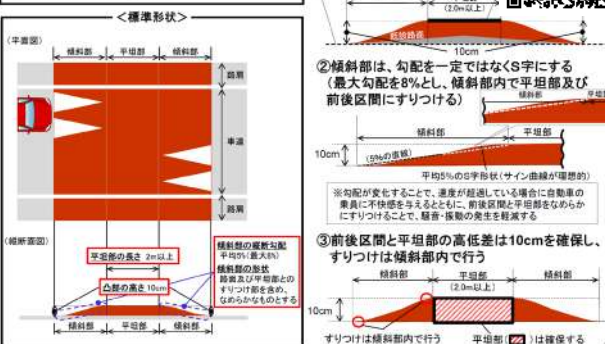
【出典】ETC2.0プロブデータ(設置前: H29.10~H30.1 設置後: H30.11~H30.12)

## ▼その他技術支援

ホームページにおいて、ハンプに関する技術基準や施工手順、設置事例等を紹介しています。

### 凸部(ハンプ)標準形状の施工に関する注意事項

凸部(ハンプ)の効果(走行速度の低減)を十分に発現させるためには、適切な形状で施工することが必要です。



### 可搬型ハンプ設置手順(動画)



■生活道路の交通安全対策ポータルサイト  
<https://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/anzen.html>

■あいち 生活道路の交通安全対策ポータルサイト  
<https://www.cbr.mlit.go.jp/meikoku/activity/safety/content05.html>